

小郡市立大原中学校だより

大為小猿



令和3年神無月22日 第17号 校長 矢野 晴一

学校教育目標:「自ら考え、自ら判断し、自ら行動しようとする子どもの育成」※「考動」



「私たちはうつむかない・・・!」 校内文化発表会 開催

9月末までの緊急事態宣言,午後家庭学習の措置,部活動停止期間,校舎改修工事・・・,大きな向かい風をまともに受けながらも,10月14日(木),本年度の**校内文化発表会**を「学年別の合唱コンクール」「主張の部」「展示の部」という形で開催することができました。

練習や準備に関するすべてのことが制限される中で、子どもたちは決してうつむきませんでした。我慢を重ね、自分たちにできることを見出して努力してきた子どもたちのことを心から尊敬します。

【合唱の部】課題曲: 1年「夢の世界を」 2年「翼をください」 3年「モルダウの流れ」

学級	自由曲名	課題曲 指揮・ピアノ	,自由曲	指揮 ピアノ
1-1	COSMOS			
1-2	旅立ちの時			
1-3	この星に生まれて			
2-1	時の旅人			
2-2	あすという日が			
2-3	明日へ			
3-1	群青			
3-2	証			
3-3	あなたへ			

【主張の部】学年代表

学級	学年代表	題名
1-3		「グスト・モ・ディ・マグカット・ディ・サ・ジャパン」
2-1		「人それぞれの考え方」
3-1		「恥ずかしいことじゃない」

【展示の部】

| 美術科 授業作品 音楽科 創作コンクール作品 国語科 色紙 家庭科 調理レポート | 技術科 木材制作 美術部 作品 中央委員会「仲間づくり標語」 情報委員会「POP」

翌15日(金)には、吹奏楽部の演奏と3年金賞学級合唱による屋外コンサートを行いました。これまでの我慢に思いをはせると、子どもたちの見えない努力が見えるような気がして、心が震えました。

また、「市都合同文化発表会」は、昨年度同様、市郡中学校の「文化部活動発表交流会」という形で本日 10月22日(金)に開催されます。本校からは、吹奏楽部が参加します。美術部の絵画や授業で制作した作品は、「展示の部」において10月23日(土) $\sim 26日$ (火)まで市文化会館や生涯学習センター等に展示されます。ぜひ子どもたちのがんばりを観ていただければありがたいです。

おおはら文化 ここに高まる 晴一ひびく声 心を繋ぐ 子どもたち

「みんなの笑顔が輝きました・・・!/

3年牛「思い出づくり/校外学習







10月20日(水),3年生が「一日校外学習」に笑顔で出発していきました。

思えば、1月に延期の判断をし、6月に断念の判断をした修学旅行の代替措置を模索してまいりまし たが、やっと緊急事態宣言等の措置が解除され、子どもたちが少しでも喜んでくれるような活動を実施 することができて、ほっと胸をなでおろしております。

子どもたちは、「城島高原パーク」と「湯布院散策」を満喫し、友だちとの思い出づくりを行うこと ができたようです。**みんな笑顔で過ごすことができた**ことがなによりでした。

これまでたいへんな我慢を強いられてきた子どもたちです。また、受験が目の前に迫っている子ども たちです。そんなゆとりのない日々を送っている子どもたちにとって、「**仲間とゆっくり過ごす大切なとき**」 になったと感じています。

「大舞台で大健闘でした!」 福岡県新人陸上競技大会 開催





準優勝 おめでとう!

さん 雨中激走

10月16日(土)、冷たい雨が降りしきる中、福岡県中学校新人陸上 競技大会が博多の森陸上競技場で開催されました。

本校からは、2年生の

さん(走幅跳), **さん**(800M),

ん (1500M) , 1年生の

さん(走幅跳)が出場しました。

さん(男子 800M)が準優勝. さん(女子走幅跳)が5位入賞と いう成績でした。 さんも さんもあと少しで入賞とはなりませんでし たが、県大会という大舞台に立ち、コンディションを整えるのが難しい

状況の中で、自分のもてる力を精いっぱいに出すことができた子どもたちの健闘を心から称えたいと思 います。

小さいけれど大きな感動・・・その17 「小鳥のさえずりききながら…」

10月14日(木)、文化発表会の合唱コンクールが始まる前の 時間、1年生が音楽室で直前練習を行っていました。子どもたちが 課題曲の「夢の世界を」の歌詞にある「小鳥のさえずりききながら ~~」と歌っているとき、なんと校庭にいる小鳥たちが一斉に「ピ ーピー」とさえずったのです。

それは、まるで小鳥たちが子どもたちに「みんながんばれよー!」と **エールをおくってくれている**ようにきこえました。思わず空を見あげて 「ありがとう」とつぶやきました。

秋晴れの空に響き渡る子どもたちの歌声を聴きながら、なんだか とてもさわやかな気持ちになりました。

